



巻頭言／社会貢献事業の一層の充実化・活性化に邁進 — 2

せつ桜苑新たなスタート、成光苑が運営 — 3

正雀愛育園に室内温水プール完成 — 3

“人財”確保・育成(研修)特集 — 4~5

学生のみなさん！実りある実習を親身に指導します

介護の世界めざす初任者研修始まる

先輩からのメッセージ

ワイド 地域貢献・交流 — 6~7

きりん夜間愛育園で世代間交流のお花見会

サンヒルズ紫豊館が学童ボランティア受け入れ

情報開示特集 — 6~10

25年度=事業報告・地域貢献事業報告・決算報告

26年度=事業計画・資金収支予算

高齢者施設ISOアンケート — 11

トピックス — 12



おのえ
尾上部屋のお相撲さん来る！
迫力満点の技披露

大相撲尾上部屋の十両里山関ら親方と5名の力士のみなさんが3月26日、高槻けやきの郷にやってきました。

テレビで見るより、はるかに大きく見える力士の姿に、地域交流スペース内はたいへんな盛り上がり。迫力満点の技を披露してもらったり、地域や職員の子どもたち、ちびっこ力士と取っ組んだり。杵を軽々持ちあげ力強い餅つきや写真撮影会も行われ、会場は熱気いっぱいでした。 ~高槻けやきの郷~



10キロコースを時間内完走
若狭マラソン大会に参加

ライフ・ステージ舞夢の「チーム舞夢男組」が4月20日に開かれた「第34回OBAMA若狭マラソン大会」(福井県小浜市主催)の10キロコースに出場し、制限時間内(1時間20分)に完走することができました。昨秋の台風18号復旧工事で今年はコースの一部が使用できずハーフ部門が中止。このため10キロコースに挑戦しました。 ~ライフ・ステージ 舞夢~



日本財団から車両の寄贈・助成
紫豊館にヘルパー移動用
電ケ池には送迎車

サンヒルズ紫豊館と吹田電ケ池ホームは日本財団からそれぞれ車両の寄贈・助成を受けました。

紫豊館訪問介護(26年2月、車両寄贈)にはヘルパー移動車両(ホンダ・ライフ)=写真左。電ケ池ホーム(同3月、福祉車両助成)には送迎車両(日産キャラバン)=写真右。車が不足しているときだけに、貴重な車両をいただきフル稼働で活躍中です。



〔法人理念〕

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

〔サービス目標〕

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

〔老人施設経営方針〕

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する

〔愛育園経営方針〕

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

【発行日】2014年6月

【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
URL. <http://www.onyx.dti.ne.jp/~seikouen/>

★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元開放のお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。



社会貢献事業の一層の充実化・活性化に邁進

理事長 高岡 國士

社会福祉法人成光苑の事業推進にあたり、日ごろから皆様の多大なご協力とお力添えを頂き、おかげで無事に新しい年度を迎えることができましたことに厚く御礼申し上げます。

厳しい改革の動きを受け止める体制整備を

さて、衆参両院議員選挙を経て安倍内閣は安定政権を確立、戦後レジームの脱却を政治スローガンに政治・経済・防衛も含め、あらゆる分野の改革が進められています。

社会福祉分野も例外ではなく、福祉制度の根幹となる社会福祉法人制度の見直しにまで踏み込んでいます。その背景の一つに、これまでの福祉制度改革に対し、制度的な対応が十分なものではなかったことがあげられます。たとえば、平成二年の在宅福祉の導入では、地域福祉施策が整わないままの実施となり、様々な課題を抱えることとなりました。

また、平成十二年の基礎構造改革では、福祉サービスの提供が措置制度から契約制度に移行し、規制緩和が進んで民間企業が参入する一方、社会福祉法人の公益性を示すものについては法人の主体性に任せられたままになっていました。

このたび、規制改革会議などの委員会から厳しく指摘されたことは、地域への社会貢献やイコールフットイングなど将来の社会福祉法人のあり方を考えるとき、多くの面で受け止めざるを得ないと思われまます。経営の透明性を図るための情報開示、社会貢献活動の義務化、公益法人のガバナンスとして理事会・評議員会の役割や権限の明確化を進めるなど、その対応によって社会福祉法人は国民、地域住民から信頼を得ることができ、そこではじめて法人の意義が確保されることを考えます。

非課税への指摘、人材確保難などに対応

合わせて、これまで当然のことと受け止めてきた社会福祉法人への非課税（租税特別措置法）が規制改革ではなく、税制改革の議論として挙げられているのも、今後の動きが気になる点です。これは成長産業育成のための企業税率の引き下げに伴う税の財源確保がねらいですが、もし国の所得税、地方税の固定資産税の対象となれば、社会福祉法人の財政基盤は壊れ、経営そのものが厳しい状況になることも予測されます。

また、現場では、人材確保難が一層深刻化しています。日本経済の再建が進む一方で、労働力人口そのものの減少、福祉業界においては要支援要介護者の急増、待機児解消のための保育所の増加など、これまで経験したことのない状況となっています。外国人労働力の確保など行政の対応と合わせ、法人・施設としては労働環境の改善や魅力ある職場作りを進める必要性があります。

地域とのさらなる信頼関係を構築

「ききょう」本号（vol.28 夏号）は、二十五年度事業報告及び二十六年度の事業計画など法人の活動状況を掲載しています。

これまでも社会貢献事業には力を入れてまいりましたが、地域の総合相談窓口の体制整備など内容の充実化・活性化を図るとともに、活動状況の整理を進め、より一層地域への貢献、地域との信頼関係の構築を目指し取り組みをまいります。今年度も職員が一丸となり、社会福祉法人としての使命を果たせるよう努力を積み重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を頂きますようお願い申し上げます。

「せつつ桜苑」の運営、成光苑に 職員の思い引き継ぎ、 地域拠点の役割果たす

『4月から民営化、新たなスタート』



センターで民営化後のビジョンを発表。同30日には摂津市から選考決定通知書が届けられました。

これによって介護老人福祉施設、短期入所、通所介護が移管され、介護保険事業についてはすべて成光苑が事業者となりました。老人福祉センター、配食事業はこれまで同様、市からの委託事業となります。

せつつ桜苑は今年4月1日から、社会福祉法人成光苑の高齢者事業所として運営を開始、新たなスタートをきりました。成光苑は平成9年、摂津市から市立せつつ桜苑の事業委託を受けてきましたが、今回、市の選考審査の結果、成光苑が運営法人として選定されたものです。

成光苑せつつ桜苑は今後、法人の一事業所として法人理念や方針に基づき、より地域社会から必要とされる事業所を目指し、一致団結して運営していくことにしています。

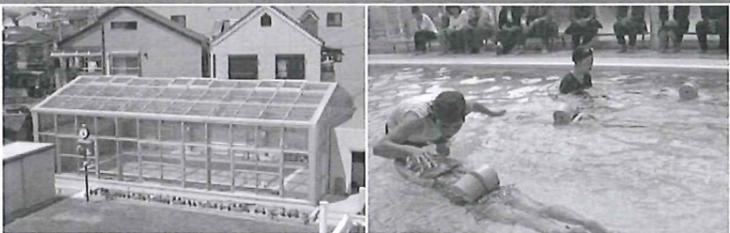
これまでの経緯について簡単に触れますと、民営化に関する募集要項が昨年7月5日に市から配布され、選定申込の提出期間は1週間。成光苑では高岡國士理事長の桜苑職員への思いや地域の福祉拠点としての役割を果たすため申請に至りました。事務手続きを経て同年8月20日の市審査委員会のプレ

年間楽しめる念願の室内温水プールが完成 ~正雀愛育園~

正雀愛育園では念願の「室内温水プール」が完成、4月18日に行われたセレモニーには、高岡國士理事長はじめ各愛育園の園長、職員らが出席しテープカット。これからのプール活動に向け、期待ふくらむ日となりました。

温水プール(4m×10m・深さ70cm)は全面窓ガラスで、採光たっぷりの明るい環境です。

正雀愛育園では、この温水プールを「オンリーワン」の大きな特色として、子どもたちがプール活動を楽しみ、泳ぐことを身につけられるよう、職員自身も日々、指導技術を高めたいと意気込んでいます。



2つ目の分園「うさぎ園」開園

待機児童解消・保護者支援の場にも

第二愛育園

第二愛育園はこの6月2日、分園では「ひよこ園」に次ぐ2ヶ園目となる「うさぎ園」を吹田市に開設しました。

第二愛育園の近隣には新興住宅地があり、新たに建設中のマンションもあります。このため入園希望者が多く待機児の解消に対応するのが狙いです。受け入れ時間は朝7時30分から夜7時まで。0~2歳児を預かり、定員は20名となっております。

ひよこ園同様、家庭的な保育を行うとともに、保護者支援につながる場としても活用してもらえよう努めてまいります。



《概要》

うさぎ園（第二愛育園 分園）
住所／吹田市千里丘下2番7号
TEL／06-6877-6913
FAX／06-6877-6914
開園／7:30~19:00

くるみ小規模 保育園を開設

くるみ愛育園

保育ママから移行・子育て支援事業先取り

くるみ愛育園は保育ママ事業を平成26年4月から「くるみ小規模保育園」に移行し、定員15名で開設する運びとなりました。

平成27年4月施行が予定されている“子ども子育て支援事業制度”を大阪市が先取りしてすすめる事業に対応したものです。くるみ小規模保育園はくるみ愛育園の連携施設としています。

保育室にはコーナーあそびのスペースなどをリニューアルし、家庭的保育・異年齢児保育を柱に保育をすすめる方針です。地域の顔が見える保育園になるのが念願です。

最近の出来事

1月~5月

○社会福祉法人のあり方に関する検討会（厚生労働省）
・これまでの検討会の意見のとりまとめ（第11回：5月19日）

地域における公益的な活動の推進、社会福祉法人組織のあり方、社会福祉法人のガバナンス（理事会・評議員会）、法人の管理監督、人材確保など

○規制改革会議など

・介護・保育事業の経営管理の強化とイコールフットィングの確立に向けての議論
・財務諸表の開示と統一形式での電子データによる開示など
・社会貢献の義務化

○介護保険

・27年度介護報酬改定に向けた議論の開始（社会保障審議会）

・地域包括ケア推進全国会議の開催（26年3月）
・利用者負担の強化

○児童（子ども・子育て会議）

・認定こども園への移行
・「保育の必要性の認定」の明確化
・認定子ども園などの公定価格・利用者負担の仮単価表の提示
・子ども・子育て会議の推進

○障がい

・障がい福祉サービスなど報酬改定の検討チームの立ち上げ
・国連「障害者の権利に関する条約」の批准
・障害者差別解消法の施行（28年4月施行）に向けた推進

学生のみなさん! 安心かつ実りある実習を親身に指導します

～福祉の仕事・やりがいを広くアピール～

■“人財”確保と育成はセットで考えます

福祉業界は昨今、生産労働人口や景気回復などの影響を受け、福祉人材の獲得が一層難しくなっています。福祉系学生までも一般企業に流出する傾向が強くなってきました。これは福祉業界全体の課題ですが、成光苑でも福祉の仕事の魅力・やりがいを広くアピールする必要があります。

成光苑の求人(採用)活動は、人財確保と人財育成をセットで考えています。やりがいやこの仕事の必要性を深く理解し、長く成光苑で働いてもらうためには、成長が実感できる人財育成システムが欠かせないというのがその理由。「福祉の仕事を通じて人の役に立ちたい」という気持ちを常に意識し地域や社会のために貢献してほしいと願うからです。

■職場の雰囲気が魅力発信の原点です

入社1年目のスタッフには、新人職員研修プログラムに沿ってチューター(新人のお兄さんお姉さん役)「ききょう」2014新年号参照)がしっかりサポート。社会人としてのマナーや介護の専門性を現場を通して学び、2年目へとステップアップします。

高齢者施設25年度研修報告

研修効果を数値化、さらにハードル上げる

平成25年度は、研修効果を測定するため、目標値を数値化し年間研修計画を実施。研修前後の成長度自己評価が+1評価目標値を60%以上に設定。新人研修では90%、チューター研修が85%、中級(主任係長)研修で88.4%とすべての研修で達成することができました。この結果を踏まえ、26年度は70%を目標値とし活動を進めていきます。

研修名	講師
4月	新人職員基礎研修(4/1~3) 外部/内部
	管理栄養士連絡会(京都) ー
	人財育成PJ会議 ー
	パーソンセンターケア研修 内部
6月	認知症ケア研修(パーソンセンターケア研修) 内部
	施設長研究会(法人理念) ー
	管理栄養士連絡会(京都) ー
	中途採用職員研修(京都) ー
	普通救命救急研修(大阪) 地域別
7月	人財育成PJ会議 ー
	主任係長研修I(大阪・京都) 外部
	パーソンセンターケア研修 内部
	新人職員フィードバック ー
8月	主任係長研修II(大阪・京都) 外部
	パーソンセンターケア研修 内部
9月	施設長研究会 ー
	認知症ケア研修 外部
	主任係長研修(課題) ー
10月	管理栄養士連絡会(京都) ー
	パーソンセンターケア研修 内部
	施設長研究会 ー
11月	認知症ケア研修 ー
	施設長研究会 ー
	人財育成PJ会議 ー
12月	主任係長研修(課題・評価) ー
	メンタルヘルス研修(京都) 内部
	パーソンセンターケア研修 内部
1月	人財育成PJ会議 ー
	施設長研究会 ー
2月	新人ステップアップ研修 外部
	チューター養成研修 外部
	チューターステップアップ研修 外部
	人権学習(京都) 内部
	管理栄養士連絡会(京都) ー
	施設長研究会 ー
3月	法人研究発表会 外部
	人財育成PJ会議 ー
	メンタルヘルス研修(京都) 内部

社会人1年目の不安を解消し、介護のプロとしての自信やモチベーションを高めるためには、職場環境・雰囲気づくりに配慮されなければ、目指す目標や目的に向かって頑張ることはできません。「成光苑があって良かった」と思ってもらえ、ご利用者やご家族、地域の皆様だけでなく、スタッフも同様に、その職場で働く喜びを見出せる共通認識が必要で、職場の雰囲気づくりが魅力発信の原点といえます。

■福祉養成校との連携を強化します

次世代の福祉人材育成をポイントに、今年度は実習生に対するスタッフの指導力の強化を図ります。

実習生にとっては初めての福祉現場の体験で、不安や悩みを多く抱えています。本来の実習内容＝「ご利用者と接すること」よりむしろ、職場の雰囲気やスタッフ間の人間関係＝「大人の社会」に敏感に反応するものです。

成光苑では、オリエンテーションやアンケートでは見えてこなかった実習生の思いを今後の福祉事業に生かすため、福祉養成校との連携強化をすすめることと、実習受入担当者や現場スタッフなどの意見や考えを精査、これまでに以上に多くの実習生が、成光苑で安心して実習に取り組めるようスタッフ一丸となって親身に受け止めていきたいと思っています。

学生のみならず! 成光苑が、あなたをお待ちしています!

介護の世界をめざそう! 入門「介護職員初任者研修」始まる

ホームヘルパー2級の資格制度が昨年4月に廃止となり、新たに介護職員初任者研修制度に移行しました。介護業界の喫緊の課題である「人財確保」と「人財育成」の両面からも同研修制度の重要性が増すものと思われまます。成光苑では、介護の世界を目指す人たちの入門講座である介護職員初任者研修を3会場で開催しています。

2月に続き次回は9月開講

成光苑大阪地区で介護初任者研修講座(通信制) 成光苑大阪地区では2月から2ヶ月間、介護職員初任者研修講座(通信制)を開講しました。自宅学習とスクーリング(週2回、土日コース)といったスケジュールに基づき、第1回目は5名の方が受講されました。座学は、ふだん現場で介護をしている職員が講師となりナマの体験談を交えながら講義。実技講習は大阪人間科学大学のご協力で実施しました。

次回の大阪での講座は9月開講の予定です。介護の道へ第一歩を踏み出そうとしているみなさん、ぜひ成光苑で受講してください。お待ちしております。

【お問い合わせ】 吹田電ヶ池ホーム TEL. 06-6310-7353

京都でもリニューアールし開講中!
仕事を続けながら土日コース
～サンヒルズ紫豊館～
平日月～金コースに20名
～ライフ・ステージ 舞夢～

サンヒルズ紫豊館では5月10日から介護職員初任者研修をスタートさせました。現在、10名の方が受講されていますが、仕事を続けながら通ってもらえるよう週2回、土日のペースで講義が行われています。9月27日に閉講式の予定です。ライフ・ステージ 舞夢では、介護職員初任者研修(写真)を4月28日から、平日月～金コース、定員20名で開講しました。8名の外部講師の方も迎え、活気のある講座となっています。今年度は利便性を考え、JR西舞鶴駅の西駅交流センターを研修会場にしています。



福祉即戦力

養成に8名の講師派遣

京都3施設が協力・受講生就職の成果も

「京都府北部福祉人材養成システム推進事業」の一環として、一昨年から実施されている離職者向け職業訓練の「福祉即戦力人材養成科」に、成光苑京都3施設(岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、ライフ・ステージ 舞夢)から講師として8名が参加、協力しました。同北部地域で不足している福祉人材の確保・養成事業に対応したものです。

実習施設としても受け入れに協力し、受講生の中から昨年には2名、今年は3名が成光苑京都に就職され、職務に邁進中です。

今年度も講師説明会が終わり、成光苑京都から講師として参加の予定です。北部地域での福祉人材の育成のため、講師として参加する職員のさらなるスキルアップを図る方針です。

保育施設26年度人財育成・研修体制

保育士に求められる接遇などコーチング研修盛り込む

研修名	対象者/回数	内 容
7ヶ園合同研修会	全職員・年1回(新規採用者含む)	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園保育士および新規採用職員も参加。
主任保育士研修	主任保育士2ヶ月/回	保育全般の手順について写真等も挿入した新人育成のためのマニュアルの作成。
立腰・漢字教育・百珠算盤等研修会	全職員・年2回～※外部講師	保育内容に立腰・漢字・百珠算盤等を導入するにあたり、保育士の指導力の向上を目的とした研修。
障がい児研修	全職員1回※外部講師	障がい児保育の充実に向けた専門的知識・対応方法等の獲得。
リズム研修	主に幼児担当保育士年2回～	子ども達へのリズム指導のスキルアップを目的として実技を中心とした内容。
スイミング研修	主に幼児担当保育士年2回～	水泳指導(幼児)の基礎の獲得を目的としたスイミングスクールのコーチによる実技指導。
子育て支援対策委員会	子育て支援担当者2ヶ月/回	地域子育て支援事業の充実・体制整備に向けた情報共有・交換、協働活動を実施。
給食担当者会議	栄養士等給食担当者保育士	食物アレルギー対応を中心とし、各園での食事に関する取り組み等の情報共有等。
公開保育	担当園が開催年1回	自園の保育内容を見直す機会となるよう法人内の担当園が主催し、保育の見学および情報交換を実施。
保育内容の見直し検討会	保育士	第三者評価受審の結果をもとに保育に関わる改善事項を中心に見直しを進める。
コーチング研修	全職員・年1～2回	保護者対応等、保育士に求められる接遇・マナーの基本を学ぶ。
園長会	全園長・年6回	内部コミュニケーションの強化および保育サービスの質の向上等。

成光苑では3年前から、特に保育現場で必要とされている事項をテーマとした研修を法人全体研修として実施してきました。年々内容は充実していますが、26年度は第三者評価の受審結果をもとに、保育内容の見直しを進めるとともに、保護者対応など接遇から相談援助技術までのスキルアップを図るため、コーチング研修を組み込むなど新たなテーマを設定し取り組み方針を立てています。

保育施設25年度研修報告

スタッフの指導力向上めざす

前年度(24年度)半ばから取り入れた立腰と漢字・百珠算盤は、保育士の指導力向上のため継続的に研修を実施。食物アレルギーに対応し給食担当者会議と合わせてエビベンの実技を盛りこんだ外部講師による研修会を開催しました。保育士を交えた会議を開催するなど職種連携を深める働きかけにも取り組みました。また、主任保育士が中心となり、法人内の新人育成マニュアルの見直しを行っています。

研修名	講師
4月	園長会 ー
	漢字研修 外部
6月	園長会 ー
	リズム研修① 内部
	スイミング研修①② 外部
	子育て支援担当者会議① ー
	新人育成マニュアル作成委員会① ー
7月	子育て支援担当者会議② ー
8月	園長会 ー
	3法人合同研修(クムシ) ー
	給食担当者会議① ー
9月	リズム研修② 内部
	子育て支援担当者会議③ ー
	新人育成マニュアル作成委員会②③ ー
10月	園長会 ー
	給食担当者会議② ー
	子育て支援担当者会議④⑤ ー
	新人育成マニュアル作成委員会④ ー
11月	漢字・百珠算盤研修①② 外部
	給食担当者会議③ ー
12月	園長会 ー
	食物アレルギー研修(エビベン使用) 外部
	子育て支援担当者会議⑥ ー
	新人育成マニュアル作成委員会⑤ ー
	公開保育 ー
1月	新人育成マニュアル作成委員会⑥ ー
2月	園長会 ー
	給食担当者会議④(保育士合同) ー
	子育て支援担当者会議⑦ ー
	障がい児研修 外部
	新人育成マニュアル作成委員会⑦ ー
3月	接遇・マナー研修 外部
	子育て支援担当者会議⑧ ー
	7ヶ園合同研修会 外部

～先輩からのメッセージ～

的確な育成体制!



戸舘 偉
吹田電ヶ池ホーム
短期入所生活介護
平成26年4月入社

ご利用者の
笑顔絶えない場所を

成光苑との出会いは、せつ桜苑での実習です。成光苑で働くと思った理由は、実習で教えられた職員の育成プログラムがしっかりしていたからです。

内定をもらったあと、吹田電ヶ池ホームでアルバイトをし、勉強しながら現場で働くことで、学生では体験できない多くのことを学ぶことができました。

現在もわからないことが多くありますが、先輩がすぐ相談にのってくれ励まされています。日々の体験で失敗も少なくありませんが、その失敗を自分の成長につなげる糧にしたい。ご利用者の笑顔が現場で働いている私には何より嬉しく、ご利用者が安心して生活でき、笑顔が絶えないような場所を作っていきたいと思っています。

実習が決め手に!



喜田 朋子
正雀愛育園
2歳児担当
平成26年4月入社

子どもを見守り、
ともに成長したい

正雀愛育園で和太鼓をはじめ、数々の試みに取り組まれていることから実習園を選びました。実習では、先生方から一つ一つ丁寧に教わり、子どもへの言葉かけの大切さなど多くを学ぶことができました。

就職先を成光苑に決めたのは、実習で指導を受けた先生方や子どもたちのもて仕事したいと思ったからです。実習後も園長先生からアルバイトに誘ってもらい、誕生会や運動会などの行事にも参加し、多くの子どもたちと関わり、保育士の仕事、子どもへの援助や対応についても学ぶ機会となりました。

「保育士」として子どもたちの成長を見守り、ともに成長していきたいと思っています。

高齢者施設

地域の総合相談窓口の役割果たす

学童ボランティアを受け入れ

サンヒルズ紫豊館

サンヒルズ紫豊館では、学童の福祉体験として年間を通し、地域の小学校から学童ボランティアを受け入れています。

今年3月には、7名の学童ボランティアがご利用者といっしょに、焼き物作りの下準備として陶器のお皿に好みの絵を描きました。「どんな絵を描こうか」と相談しながら、個性あふれる作品を楽しく作ることができました。

焼き上げは後日、職員で行い、完成したお皿は参加されたみなさんにお渡しします。

この6月には学童が福祉と触れ合う機会として、近隣小学校とご利用者の交流の機会を設けています。

ご利用者は子どもたちと触れ合い、とてもうれしそうなお顔をみられます。これからも学童ボランティアを継続し、未来の介護士を、そしてご利用者の笑顔を、育てていきたいと思っています。

ご利用者と焼き物のお皿に絵を描く



「施設が身近に…」と参加者 家族介護者交流会のバスツアー

ライフ・ステージ 舞夢



ライフ・ステージ 舞夢は4月13日、「家族介護者交流会バスツアー」を実施しました。

このバスツアーは、地域で在宅介護をされているご家族の慰労と家族間の交流を図るのが目的で、今年4回目。

参加者10名と職員6名で、当施設を見学したあと、宇川温泉で昼食会を開きました。参加されたみなさんから「施設を身近に感じることができた」「丹後半島をめぐる、ゆっくりできた」と喜びの声が寄せられました。



25年度地域貢献事業報告

【地域貢献事業の充実】

法人としては、災害復興支援のため東日本大震災(500,000円)、フィリピン台風被害(641,307円)に義援金を寄付。

高齢者施設では、地域の総合相談窓口としての役割を果たすため、全施設

高齢者施設	保育施設
【地域に焦点を当てた事業展開】	
<ul style="list-style-type: none"> 福祉バス(無料)の運行(4往復/日) →延べ利用者数:5692名(年間299日運行) 福祉有償運送(移動困難者に対し安価で移動支援)の活発な運用 地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施(夏祭り、陶芸教室など) 介護教室・介護予防教室の実施・リハビリ機器を利用した訓練の実施など施設資源の開放 地産地消の取り組み 地域交流スペースの開放や喫茶などの運営 	<ul style="list-style-type: none"> 親子教室で年齢に応じた遊びを提供(製作、リズム、絵本の読み聞かせなど) 各園の保育室、園庭、プールなどを開放 地域の親子で結成するサークル活動を支援するため場所を提供(保育室の開放) 地域の親子への絵本の貸出 近隣の公園や公民館、小学校などに集まる地域の親子への遊びの提供、イベント開催、園の季節の行事への招待および地域の親子を対象とした独自のイベント開催 赤ちゃんの駅(おむつ替えや授乳ができる施設)の登録 地域が主催するイベントへの参画(和太鼓演奏など)
【地域における福祉推進】	
<ul style="list-style-type: none"> 施設に地域の総合相談窓口の設置およびその周知 認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェなど開設 相談援助活動への職員派遣及び介護相談会の実施 介護職員初任者研修事業の講師派遣 地域住民に対する介護技術研修の開催 地域ボランティアの積極的な受入および窓口の明確化 児童福祉ボランティア育成支援 介護、看護、相談援助などの専門職実習生の受入 次世代育成のための中学生の職場体験および社会福祉体験学習の受入など 子ども110番運動への参画 認知症デイサービス利用者の家族の会の立ち上げおよび地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの応急処置、感染症、歯の健康に関するハンドブック(「すくすくけんこうハンドブック」)を自主作成し無料配布 育児相談員およびスマイルサポーター(大阪府知事認定)による育児相談窓口の設置(来所・電話など) 保育士・管理栄養士による専門性を活かした講座の開催(離乳食講座・アレルギー食講座など) 校区福祉委員会主催の子育てサロンへの職員派遣 一人暮らし高齢者宅の訪問 次世代育成としての小中学生の職場体験の受入 保育士養成校からの保育士養成実習の受入 地域の老人会・民生委員などとの交流会の開催
【社会的援護を要する人々への支援】	
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人など利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業の実施 通所サービスの時間外での受入、食費負担軽減 地域の高齢者から通報を受信したコールセンターからの要請に対し24時間365日対応 虐待ケースなどの緊急受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 特別保育事業(一時預かり保育、延長保育など)の展開 被虐待児童に対し、関係機関との連携などによる支援
【国際交流】	
<ul style="list-style-type: none"> EPAフィリピン人介護人材の受入(2名)、日本語教育 他国籍職員の雇用 施設職員および地域の在日フィリピン人を対象とした日本語勉強会(つぼみの会)などを毎月実施 フィリピン台風30号被害への復興義援金の寄付 	<ul style="list-style-type: none"> 他国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援 フィリピン台風30号被害への復興義援金の寄付
【地域団体などとの連携の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 地区の福祉推進協議会や施設・事業者連絡協議会などに参加し、地域連携強化・職員派遣 校区のPTAとの協力、自治会活動への職員派遣 ボランティア団体との懇親会の開催 地域の障害者施設による食品などの訪問販売 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員・主任児童委員・自治会長との連携 中学校区の地域教育協議会に参加 小学校地区の関係団体との連携した行事の開催 保健所などとの連携(保健師による訪問指導・保健センターでの遊びの提供など)
【災害支援・環境対策】	
<ul style="list-style-type: none"> 台風18号被害への復興支援の職員派遣、短期受入 東日本大震災復興支援の義援金の寄付 一人暮らし高齢者宅の防火訪問 地域の除雪作業の支援 地域との総合防災訓練の実施、防災協定の締結 地域の避難所としての指定、防災倉庫の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災復興支援の義援金寄付 近隣の草引き・清掃活動への参加 牛乳パック、エコキャップ運動の実施 グリーンカーテンの栽培 全園の節電活動 エコ育のさらなる充実
【独自の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> 24時間365日型訪問介護事業の取り組み 配食サービスの提供および安否確認 生活困窮者などに対する相談支援事業およびコミュニティソーシャルワーカーの配置・養成 	<ul style="list-style-type: none"> 365日型(日曜・祝日保育、年末年始)保育の実施 地域の待機児解消に向けた事業展開の検討(分園の開園など)

子育て支援の情報共有・活動の活性化

保育施設

手作りカスタネット 150個分を準備

一津屋愛育園

恒例の「こどもフェスティバル2014」(摂津市教育委員会主催)が5月11日、五月晴れに恵まれ盛大に開催されました。市域の子どもを中心に、一般市民にほぼ無料で遊びやショーを楽しんでもらおうという企画です。

各社会福祉事業団体や多くの市民グループが協力、会場に利用されたのは市内中央に位置する大正川河川敷。

一津屋愛育園も今年初めて参画、親子で楽しむ手作りカスタネットを計画しました。子育て支援担当者を中心に4人の保育士が対応、約150個分と多めに準備しましたが、昼過ぎには完了となるほどの人気ぶりでした。



地域のお年寄りを招き 「お花見会」 子どもたちと世代間交流

第二愛育園・きりん夜間愛育園

第二愛育園ときりん夜間愛育園は4月8日、地域のおじいちゃん、おばあちゃん約20名を招待し「お花見会」を開催しました。お年寄り子どもたちの世代間交流の試みの一つです。

咲き誇る満開の桜のもと、両愛育園の5歳児の子どもたちがお抹茶を運んだり、ふれあい遊びなどでおじいちゃん、おばあちゃんたちと楽しいひと時を過ごしました。

また、子どもたちが歌を発表したり、おじいちゃん、おばあちゃんと同じテーブルを囲み、一緒にお弁当を食べました。笑顔が絶えない雰囲気、参加されたみなさんから「今日のお弁当は格別においしいわ～」と喜んでくれました。

世代間交流を通して、子どもたちにも、人をいたわる気持ちや思いやりの心を育ててほしいと願っています。



26年度 事業計画

地域福祉に貢献・超高齢社会のセーフティネット機能発揮へ

Table with 2 columns: 高齢者施設, 保育施設. Includes sections for 事業方針, 高齢者施設, 保育施設, 処遇方針, 人財育成および研修体制.

Table with 2 columns: 高齢者施設, 保育施設. Includes sections for 事業方針, 高齢者施設, 保育施設, 処遇方針, 人財育成および研修体制.

Table with 2 columns: 高齢者施設, 保育施設. Includes sections for 事業方針, 高齢者施設, 保育施設, 処遇方針, 人財育成および研修体制.

Table with 2 columns: 高齢者施設, 保育施設. Includes sections for 事業方針, 高齢者施設, 保育施設, 処遇方針, 人財育成および研修体制.

Table with 2 columns: 高齢者施設, 保育施設. Includes sections for 事業方針, 高齢者施設, 保育施設, 処遇方針, 人財育成および研修体制.

25年度 事業報告

法人理念の共通理解すすめ、「求める人財像」の明確化を図る

Table with 2 columns: 高齢者施設, 保育施設. Includes sections for 事業報告概要, 人財確保体制の整備, 情報開示等.

Table with 2 columns: 高齢者施設, 保育施設. Includes sections for 事業報告概要, サービス提供の充実化.

25年度ISO成光苑アンケート

地域ニーズを掘り起こし、新たなサービス創造へ



成光苑高齢者全6施設は毎年恒例となりましたアンケート調査を平成25年度も実施しました。同年度は地域で暮らす高齢者と接する機会のある民生委員、自治会長の方々へアンケートを実施することにより、課題の抽出や地域ニーズの掘り起こしを行い、現状を把握

することで社会福祉法人として地域に貢献できる新たなサービスを創造することが目的です。アンケートにご協力いただいた民生委員、自治会長の皆様方、ご協力ありがとうございました。

■アンケート回収状況(回収率:43.3%) ■総配布数:215票(民生委員149名、自治会長66名)
■総回収数:93票(民生委員60名、自治会長33名)

【設問①】 高齢者の地域生活でのお困りのこと・足りないと思われるもの5つに、チェックをお願いします。

【回答①】 [全体]では、移動手段 11.9%、経済的負担 9.8%、買い物 8.1%、健康 8.1%が上位に。地域別に見ると [京都]は、移動手段 13.9%、経済的負担 12.5%、買い物 11.5%が上位、[大阪]は、近隣住民との関係 10.8%、移動手段 9.9%、社会参加 9.0%の順でした。

全体	民生委員	自治会長	合計
介護サービスの量	19	10	29
介護サービスの質	15	7	22
経済的負担	27	15	42
認知症	20	12	32
近隣住民との関係	19	13	32
相談機関	11	3	14
行政サービス	15	7	22
移動手段	39	12	51
買い物	24	11	35
住環境	11	6	17
家族関係	12	7	19
友人関係	1	1	2
健康	18	17	35
生きがい	16	6	22
金銭管理	3	2	5
個人情報	7	6	13
社会参加	15	14	29
消費者トラブル	3	2	5
その他	0	2	2
合計	275	153	428

【設問②】 高齢者の地域支援の現状で良いと思われることや課題と感じていること等をお書きください。(自由記載)

【回答②】 各施設の広報誌などに掲載しております。

【設問③】 高齢者が最後まで住み慣れた地域で生活するために必要と思われることや「こんなもの(サービス、設備など)があればいいな」と思われることをお書きください。

【回答③】 ①安価な移動支援 ②宅老所、通院や買い物などの付添、便利屋的サービスなどのデイサービスやヘルパーなどの介護保険以外のサービス ③交流の場、機会を作り心身の健康維持 ④移動販売車 ⑤定期巡回サービス ⑥便利屋など様々な意見が寄せられました。これらのご意見をもとに、現状のサービスの利便性向上や新たなサービスを検討したいと思っています。

【設問④】 施設に期待すること等があればお書きください。(自由記載)

【回答④】 各施設の広報誌などに掲載しております。

25年度 決算報告

【資金収支計算書】

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	24	1,050	3,391	61	△1	4,525
事業活動収支	支出	70	937	2,895	40	△1	3,941
事業活動資金収支差額		△46	112	497	21	0	584
施設整備等収支	収入	0	254	292	170	0	716
施設整備等収支	支出	0	421	553	174	0	1,148
施設整備等資金収支差額		0	△167	△261	△4	0	△432
その他の活動収支	収入	103	111	358	5	△382	195
その他の活動収支	支出	3	56	691	16	△382	385
その他の活動資金収支差額		101	55	△335	△11	0	△190
当期資金収支差額合計		54	1	△99	5	0	△38
前期末支払資金残高		77	172	2,211	24	0	2,484
当期末支払資金残高		131	173	2,112	30	0	2,446

【事業活動収支計算書】

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
サービス活動収支	収益	1	1,042	3,356	61	0	4,460
サービス活動収支	費用	48	997	3,125	48	△1	4,217
サービス活動増減差額		△47	45	230	13	1	243
サービス活動外収支	収益	22	8	37	0	△1	67
サービス活動外収支	費用	28	11	43	8	0	91
事業活動外収支差額		△6	△3	△6	△8	△1	△24
経常増減差額		△53	42	224	5	0	220
特別収支	収益	192	268	479	0	△627	312
特別収支	費用	134	361	728	9	△627	605
特別増減差額		58	△94	△249	△9	0	△293
当期活動増減差額合計		6	△51	△24	△4	0	△73
前期繰越活動収支差額		271	627	3,409	110	0	4,417
その他の積立金取崩額		0	105	3	0	0	108
その他の積立金積立額		0	26	302	0	0	328
次期繰越活動収支差額		277	654	3,086	106	0	4,123

【貸借対照表】 成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

平成26年3月31日現在

単位:百万円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	2,871	流動負債	779
固定資産(基本財産)	5,485	うち1年以内借入金・賞与引当金	354
その他の固定資産	2,626	固定負債	2,432
		負債合計	3,212
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,410
		その他の積立金	628
		次期繰越活動収支差額	4,123
資産合計	10,982	純資産合計	10,982

脚注

1. 減価償却累計額 2,720,450,640円

成光苑事業区分

社会福祉事業

(本部)

本部、地域貢献事業

(保育園)

千里丘愛育園、第二愛育園、正雀愛育園、一津屋愛育園
くるみ愛育園、きりん夜間愛育園、大阪市立東生野保育所

(老人福祉施設)

岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、せつつ桜苑
高槻けやきの郷、吹田竜ヶ池ホーム、ライフ・ステージ舞夢、
厚デイサービスセンター、きりんデイサービスセンター
きりんヘルパーステーション、加佐デイサービスセンター
寿みのりの郷デイサービスセンター、デイ・ホーム和夢

(公益事業)

高齢者優良賃貸住宅 竜ヶ池ハウス、岩戸診療所、桜苑診療所

けやき診療所、竜ヶ池診療所

26年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

成光苑全施設 (社会福祉事業・公益事業)

単位:百万円

勘定科目	本部	保育園	高齢者施設	公益事業	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	31	1,052	3,352	59	0	4,495
事業活動収支	支出	45	945	2,942	38	0	3,970
事業活動資金収支差額		△14	108	410	21	0	525
施設整備等収支	収入	0	20	102	0	0	122
施設整備等収支	支出	0	58	608	7	0	674
施設整備等資金収支差額		0	△38	△507	△7	0	△552
その他の活動収支	収入	171	0	405	0	△184	392
その他の活動収支	支出	6	10	227	8	△184	68
その他の活動資金収支差額		165	△10	178	△8	0	324
予備費		0	59	0	0	0	59
当期資金収支差額合計		151	0	81	6	0	238
前期末支払資金残高		148	172	1,974	30	0	2,324
当期末支払資金残高		298	172	2,055	36	0	2,562